

◎中学校施設の経費

中学校施設管理運営事業

【 教育総務課・学校施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 市立中学校9校

意図 安全で良好な教育環境を確保するため。

効果 生徒たちが安全・安心な状態で教育を受けられる環境を整える。

【事業の内容】

(1) 中学校施設管理事業

- ・施設・設備の機能を維持し、安全を確保するため各種点検や修繕を実施した。

(2) 中学校施設運営事業

- ・市立中学校9校分の光熱水費、電信料を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,992	101,871	98,397		3,474
主な支出内訳				
・ 中学校施設管理事業				
ペンキ・木材等消耗品費				1,878
中学校各校維持修繕料				44,372
自家用電気工作物保安業務手数料				1,379
消防用設備等保守点検手数料				515
御成中学校 エレベーター保守点検手数料				819
浄化槽等定期検査手数料				227
便所清掃委託料				3,952
体育館床樹脂皮膜塗布委託料				441
油汚泥運搬処分委託料				220
植栽維持管理委託料				1,445
浄化槽清掃委託料				1,188
排水合併処理施設維持管理等委託料				1,727
・ 中学校施設運営事業				
光熱水費				36,536
電信料				3,698

事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <b>教総-07 中学校施設管理運営事業</b> <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1179 中学校施設管理運営事業							
主管課	教育総務課	関連課	学校施設課						
分野名	学校教育								
目標 (目標値)	限られた予算額の範囲内で効率的な予算執行に努める								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	対 象 者	2,863人	2,863人	2,797人					
運営資源 状 況	決算値	40,234千円	40,808千円	36,923千円					
	(国・県)	0千円	0千円	0千円					
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円					
	(一般財源)	40,234千円	40,808千円	36,923千円					
	人員配置数	0.3人	0.3人	0.3					
	人 件 費	2,811千円	2,878千円	2,834千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	43,045千円	43,686千円	39,757千円					
	市民1人当 りの経費	244円	248円	227円					
	対象者1人 当りの経費	15,035円	15,259円	14,214円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(23年度)		
各校への月毎の光熱水使用量の 通知(節電・節水の励行)	◎	目標値	12	12	12	12	12		
		実績値	12	12					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市	三浦市	
公立学校数(校)	15	9	19	12	13	3	37	4	
公立生徒数(人)	6,680	2,903	9,897	5,091	5,671	1,094	17,990	1,283	
公立学級数	188	86	271	146	161	32	515	37	
団体名	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市	
公立学校数(校)	9	13	9	4	6	6	4	5	
公立生徒数(人)	4,321	5,984	5,347	2,591	3,144	3,400	1,276	2,233	
公立学級数	121	170	147	71	90	92	39	62	

事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・節電・節水を励行し、管理コストの削減を図る。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・毎月分の光熱水費の執行状況について、前年度分と比較できるように各学校長へ通知し、コスト意識を徹底し、管理コストの削減に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・原油高や気候の変動により、予算執行の傾向が例年と異なることがあった。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・節電・節水を励行するよう周知するとともに、今後の原油高や気候の変動、学校教育環境の変化などの動向を踏まえ管理コストの予算化を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	今後も節電・節水の励行について徹底させ、管理コストの削減に努める。			
担当課長氏名:		教育総務課長 小嶋 秀一郎		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	今後も、各学校に節電・節水の励行について理解を得ながら、充実した学校運営を支援したい。			
担当部名	教育総務部	部長名	宮田 茂昭	

事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 教総-13 中学校施設管理運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	154	中学校の維持管理				
主管課	学校施設課		関連課				
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	市立中学校9校の良好な教育環境を確保します。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日 ・学校基本調査 (各年5月1日)		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	生 徒 数	2,940人	2,863人	2,797人			
運営資源 状 況	決算値	58,162千円	108,655千円	92,351千円	20年度人件費 8,819,250円		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	58,162千円	108,655千円	92,351千円			
	人員配置数	1.4人	1.4人	1.4人			
	人 件 費	12,347千円	12,481千円	12,694千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	70,509千円	121,136千円	105,045千円			
	市民1人当 りの経費	400円	689円	600円			
	対象者1人 当りの経費	23,983円	42,311円	37,556円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
数値指標なし		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・多くの学校が建設から25年以上経過しているため、経年劣化により、特に校舎・体育館の外壁、校舎屋上防水、体育館屋根廻等の傷みが激しいところがある。学校からこれらの修繕要望について、応えられないことが多い。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(上記課題・問題点についてどのような創意工夫、改善(対応)をしましたか) ・修繕にあたっては、限られた予算の中で効率よく執行できるよう、緊急性等の視点から優先順位を付けて実施した。また、生徒の安全に係わるものについては最優先に実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・多くの学校が建設から25年以上経過しているため、経年劣化により、特に校舎・体育館の外壁、校舎屋上防水、体育館屋根周り等の傷みが激しいところがある。学校教育活動に支障を来たすことがないよう、修繕にて対応してきたが、中には修繕の限界を超えているものもあり、工事での対応が必要である。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・校舎・体育館の外壁、校舎屋上防水、体育館屋根周り等の改修については、建物本体の延命につながるものであることから、今後、傷みの激しいものから順次、計画的に改修工事を進めていきたい。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	多くの中学校の老朽化が進んでいる。特に外壁、屋上などの劣化は、雨漏りの原因ともなり、教育活動に支障を来たすとともに、建物本体にも影響を及ぼすことから、計画的に改修工事を施工することが必要であると考えている。また、改築予定校である第二中学校、大船中学校についても、改築までの間、教育活動に支障を来たすことがないよう、施設改修を実施していきたい。			
担当課長氏名:		学校施設課長 宮崎 順一		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	学校施設の維持管理については、学校現場からの要望を尊重し、的確に対応していきたいと考えている。また、修繕対応では限界を越えているものについては、耐震改修工事が終了後、速やかに大規模改修工事を実施するなどの対策を検討していきたい。			
担当部名	教育総務部	部長名	宮田 茂昭	